

# 令和2年度 県立芦屋国際中等教育学校 学校評価シート(年度末評価)

<p><b>【教育の特徴】</b>          一般の中学校・高等学校にあたる前期課程・後期課程の6年間を通じて、異なる言語環境や文化的背景のもとに育った生徒が、能力や適性に応じて弾力的に学ぶ中高一貫校として、教育活動を展開する。</p> <p><b>【学校教育目標】</b>          (1) 言語環境や文化的背景の異なる子どもたちの相互啓発により、共に生きる心をはぐくみ、多文化社会に生きる人間形成を図る。          (2) 個に応じた指導の充実により、基礎・基本を確実に身につけ、それを基に自ら学び、考え、判断し、行動する力を培う。          (3) コミュニケーション能力や異なる文化を理解・尊重する態度など豊かな国際感覚を備え、国際社会に貢献できる力を育てる。</p> <p><b>【学校経営の重点】</b>          (1) 個に応じたきめ細かな支援          ① 自己実現への支援          自己の出身国や滞在国等の言語・文化を探求するなど、自尊感情や自己肯定感をはぐくむ学習活動を取り入れるとともに、豊かな共生の心を培い、自己実現に向けた支援を行う。          ② 弾力的で多様なカリキュラム編成と学習支援          少人数指導や個別指導など、6年間を通じた弾力的で系統的なカリキュラム編成を行い、日本語や日本文化の理解の程度、海外で身につけた語学力や教科内容の理解度等に合わせた、個に応じた学習支援を行う。また、ICTの活用や、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に努める。</p>	<p>③ 主体的な進路実現への支援          中高一貫校の強みを生かした、トライやるウィークからトライやるワークにつながる体系的なキャリア教育を充実させ、キャリアガイダンス機能を向上し、生徒の主体的な進路実現を支援する。また、様々な語学に関する資格試験に対応した学習指導を行うなど、生徒の個性を生かした資格取得を支援し、後期課程においては取得した資格を単位認定するなど、生徒の達成感や充実感を引き出し、主体的な進路実現への意識を高める。</p> <p>④ 心の教育の推進          道徳教育、人権教育、特別支援教育を計画的に推進するとともに、組織的な教育相談・カウンセリング機能を向上させる。また、生徒や保護者の悩みに寄り添い、学校と保護者が連携して命を大切に「心の教育」の充実を図る。</p> <p>⑤ 交流活動の推進          他の教育機関や国際交流協会、国際協力機構(JICA)などの関係機関等との連携・交流を図り、多様な学習環境を創造する。</p> <p>(2) 開かれた学校づくりの推進          学校の教育目標や指導計画、日々の教育活動の様子を積極的に発信し、学校や地域の課題を保護者・地域住民と共有するとともに、協働と連携を図りながら、保護者・地域に信頼される教育活動を推進する。</p> <p>(3) 働き方改革の推進          留守番電話の適切な運用、学校閉庁日の実施をはじめとした取組により、長時間勤務の削減に努力する。</p>
---	--

## 【本年度の重点項目】

	領域	重点目標	中間評価			成果・改善点	年度末評価			評価	学校関係者評価・意見
			点	割合	評価点平均(昨年度)		点	割合	評価点平均(昨年度末)		
1	授業力の向上と学習指導の充実	各授業時(間)の目標を明確に示すなど、創意工夫した授業の実践に努める。	5	11.1%	3.1(3.4)	・各授業の最初に本時のポイントを強調した。 ・臨時休業があったため、学習内容を短時間で進めた。もっと生徒に目標を意識させる工夫が必要だった。 ・授業前にホワイトボードに授業の内容(予定)を書いている。 ・新型コロナウイルス感染症対策で制限も多かったが、工夫し、対応した。	5	14.3%	3.1(3.6)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全体的な数字だけでなく、個々の意見を反映できるようにしてはどうか。</li> <li>• ふるさと貢献活動などの活動は、前もって地域に知らせしてほしい。子どもたちの活動の様子を見たいし、声もかけたい。</li> <li>• 日本は、授業時間外での学習時間が欧米に比べて圧倒的に少ない。Classiのようなツールを使って学校外での学習の幅を広げて欲しい。新型コロナウイルス感染症の収束後も今年得たことを活用してほしい。</li> <li>• 今回の学校評価は、新型コロナウイルス感染症予防のために、評価が下がったことはしかたがない。今回の結果をバネにしてほしい。</li> <li>• コロナウイルス感染症収束後に、対面授業のみに戻ってしまわないようにしてほしい。</li> <li>• アフターコロナも、今年度の取組や導入したシステムを活用してほしい。</li> <li>• 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、いろいろ創意工夫している。生徒の取組の中で一般公開できるものは、HP等でどんどん発信してほしい。</li> <li>• 学校によっては、新型コロナウイルス感染症を理由に、行事等を実施していないところもあるが、芦屋国際中等教育学校は、感染対策に配慮しながら、可能なかぎり実施していて素晴らしいと思う。</li> <li>• 今年度は公開授業や行事で参加できる人数に制限があったので、PTAの代表がリポートし、それをPTAのホームページ等で紹介した。普段から仕事の都合等で、参加できない方もいるので、このような取組は今後も継続したい。機会があれば、PTAに声をかけてほしい。</li> </ul>
			4	38.9%			4	34.3%			
			2	44.4%			2	51.4%			
			1	5.6%			1	0.0%			
		教師からの一方通行の授業ではなく、生徒の活動を重視した授業を取り入れる。	5	13.9%	3.0(3.3)	・今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、実験やグループワーク等を控えなければならなかった。 ・発表の場をはじめ生徒が主体的に参加する場面を多く作ったり、使用する教材を工夫した。 ・スピーキングテストや学習支援アプリ classi を活用し双方向に努めた。 ・ペアワークを控えた分、例年よりは教師からの説明が増えた。 ・ソーシャルディスタンスを保ちながら、感染症予防とコミュニケーション活動の両立を意識して取り組んだ。	5	11.4%	2.9(3.6)	C	
			4	33.3%			4	34.3%			
			2	44.5%			2	40.0%			
			1	8.3%			1	14.3%			
		前期と後期のつながりだけでなく、長期的な展望を持って、授業を計画し、実践する。	5	11.8%	3.2(3.2)	・4年次から先の見通しを立て、入試への意識を持たせた。 ・前期課程生に対して、後期課程の内容を意識し、発展的問題を多く扱った。 ・共通テストに向け、1年からスコアデータを残し、モチベーションを高めていけるよう努力した。 ・前期課程の授業で、今、学習していることが分かるだけでなく、後期につながる授業に心がけた。	5	18.2%	3.4(3.8)	B	
			4	44.1%			4	45.5%			
			2	38.2%			2	33.3%			
			1	5.9%			1	3.0%			
生徒の習熟度・到達度を意識し、分かる授業、意欲を高める授業の実施に努める。	5	11.1%	3.3(3.2)	・習熟度を意識し、個に応じた指導に努めた。また、毎時間小テストで理解度を確認し、定着を図った。 ・意欲の高い生徒には、放課後を利用し補習している。 ・生徒が興味・関心・意欲を高めることができるよう心がけて授業を工夫した。 ・パワーポイントを利用し、意欲を高めるように工夫した。 ・やさしい日本語を取り入れ、誰もがわかりやすい授業に努めた。	5	8.8%	3.2(3.6)	B			
	4	47.2%			4	47.1%					
	2	41.7%			2	44.1%					
	1	0.0%			1	0.0%					
公開授業・研究授業を行うなど、教職員間で協働し、授業改善に努める。	5	9.1%	2.7(2.2)	・本校の youtube チャンネルに授業をアップロードし、本校生や他の教員が授業を視聴できるようにした。 ・コロナ禍のため、公開のチャンスが持てなかった。全教員による授業や調査問題等の研修が必要だと思う。 ・同じ科目を担当する教職員間で十分に情報を共有できなかった。 ・研究授業を含め、相互助言的な活動はあまりできなかったが、個人で教材研究、授業改善に努めた。	5	2.9%	2.6(2.8)	C			
	4	24.2%			4	29.4%					
	2	60.6%			2	58.8%					
	1	6.1%			1	8.8%					
2	情報発信とコミュニケーションの充実	必要な情報を事前に、関係者、及び関係機関に知らせる。	5	10.5%	2.9(3.4)	・学習支援ソフト classi を有効に活用し、必要な情報を保護者や生徒に発信した。 ・保護者会保護者、生徒とのコミュニケーションを十分にこころがけできなかった。 ・日本語支援が必要な生徒の情報や支援のしかたについて関係者にお知らせし、共有できるように努めた。 ・施設利用や図書業務等、国際高校との連携は取れていた。 ・生徒、保護者に対して、丁寧に対応した。	5	3.9%	3.1(3.3)	B	
			4	39.5%			4	43.8%			
			2	50.0%			2	48.4%			
			1	0.0%			1	3.1%			
		取り組みに関する説明を十分に行い、説明責任を果たす。	5	2.8%	2.9(3.1)	・学習支援ソフト classi を用い、保護者と部活動の情報を共有した。 ・新型コロナウイルス感染症対策で、保護者会等がなかったため、学級の様子等を伝える機会が減った。 ・信頼を得るために、人間関係をしっかりと築いていく必要がある。 ・生徒、保護者に対して、丁寧に対応した。 ・生徒によっては、保護者との連絡が難しい時があった。	5	3.2%	2.9(3.2)	C	
			4	30.6%			4	42.4%			
			2	58.3%			2	48.0%			
			1	8.3%			1	5.5%			
		積極的なコミュニケーションを図り、生徒、保護者、地域等関係機関と連携する。	5	13.2%	2.9(3.2)	・office356 を活用して課題を提出させ、それに対する添削を行った。 ・クラスの生徒一人一人とよく話をし、十分に寄り添うことができた。 ・学習支援アプリ classi を用いて、クラス、授業、部活動の情報を生徒だけでなく、保護者にも発信した。 ・コロナ禍で制限はあったが、生徒の意見や話を聞くことを積極的に心がけた。	5	2.4%	2.9(3.2)	B	
			4	34.2%			4	44.1%			
			2	52.6%			2	48.0%			
			1	0.0%			1	5.5%			
結果・成果の通知、学校の情報等を外部へ発信する。	5	10.0%	2.7(3.0)	・今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、思うような取り組みができていない。 ・定期的に学年通信や学級通信を発行した。 ・ホームページやメール配信に加え、学習支援アプリ classi が導入され、外部への発信の機会が増えた。 ・コミュニケーションの更なる必要性を感じた。	5	2.5%	2.9(2.9)	C			
	4	35.0%			4	41.7%					
	2	45.0%			2	50.0%					
	1	10.0%			1	5.8%					

## 【専門部の業務評価】

(1)総務部		
項目	平均	評価
企画・運営	4.3(4.6)	A
入学者選考等	4.0(4.2)	A
渉外・PTCA・他校等	4.0(4.0)	A
広報	4.0(4.0)	A
国際交流	3.3(3.7)	B
防災	3.7(3.3)	B
庶務	3.8(3.0)	B
データ整理・管理	3.0(3.0)	B

(2) 学習支援部							
教務	項目	平均	評価	進路指導	項目	平均	評価
時間割	3.5(3.8)	B	体験学習	3.0(3.1)	B		
学籍	3.5(3.7)	B	総合的な学習の時間	3.0(3.0)	B		
調査・統計	5.0(4.2)	A	図書	項目	平均	評価	
教科書・教材	3.4(3.4)	B	図書の選定・紹介	3.8(3.5)	B		
新入生テスト	3.0(3.0)	B	図書の貸出	3.0(3.0)	B		
学習状況調査・授業評価	4.0(5.0)	A	日本語教育	項目	平均	評価	
全国学力・学習状況調査	4.0(5.0)	A	日本語指導	4.0(3.6)	B		
定期考査・データ処理	4.0(4.0)	A	日本語研究	3.7(3.9)	B		

(3) 生活支援部							
生徒指導	項目	平均	評価	保健	項目	平均	評価
生徒会活動	3.8(3.8)	B	教育環境整備	4.0(3.7)	B		
特別支援教育・教育相談	5.0(4.3)	A	人権・道徳	項目	平均	評価	
安全指導	4.0(3.7)	B	人権教育	3.5(3.5)	B		
庶務	4.0(4.0)	A	道徳教育	3.7(3.7)	B		
式場準備	4.0(4.0)	A	ネ	項目	平均	評価	
関係機関等との連携	4.0(4.0)	A	管	ネットワーク管理	4.7(4.7)	A	
部活動	4.2(3.8)	B					
特別指導	4.0(4.0)	A					

＜学校評価の改善について＞		
平成23年度の学校評議員会での協議を受けて平成24年度より学校評価を以下の通り改善し、今年度も継続している。		
(1) 学校評価の評価項目	評価項目を減らし、重点目標に係る項目のみとする。	
(2) 部署ごとの取り組み	担当業務について個々の業務内容について評価を行った後、合算して評価する。	
(3) 学校評議員会・学校関係者評価委員会では、重点目標に係る評価のみを協議し、部署ごとの取り組みについては、報告とする。(ただし、著しく評価の低いものについては、次年度の重点項目の一つとして協議する。)		
(4) 年度末の学校評価シートについては、重点目標と部署ごとの項目の評価を記載する。		